

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年10月31日時点)

露軍は、**ウクライナ東部・南部地域**での攻勢やウクライナ全土に対する**ミサイル・無人機攻撃**を継続。また、ウクライナ軍も無人機等による露領内への攻撃等を継続している模様。

## 戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
  - : **死者最大25万人、死傷者95万人以上**(CSIS25年6月3日)
  - : **死傷者約112万人**(英国防省25年10月14日)
- 「ウ」軍: **死者約4.5万人**(ゼレンスキー大統領25年2月4日)
  - : **死者最大6~8万人、死傷者約40万人**(CSIS25年6月3日)
- 「ウ」市民: **死者13,883人、負傷者3万5,548人**(UN25年8月13日)

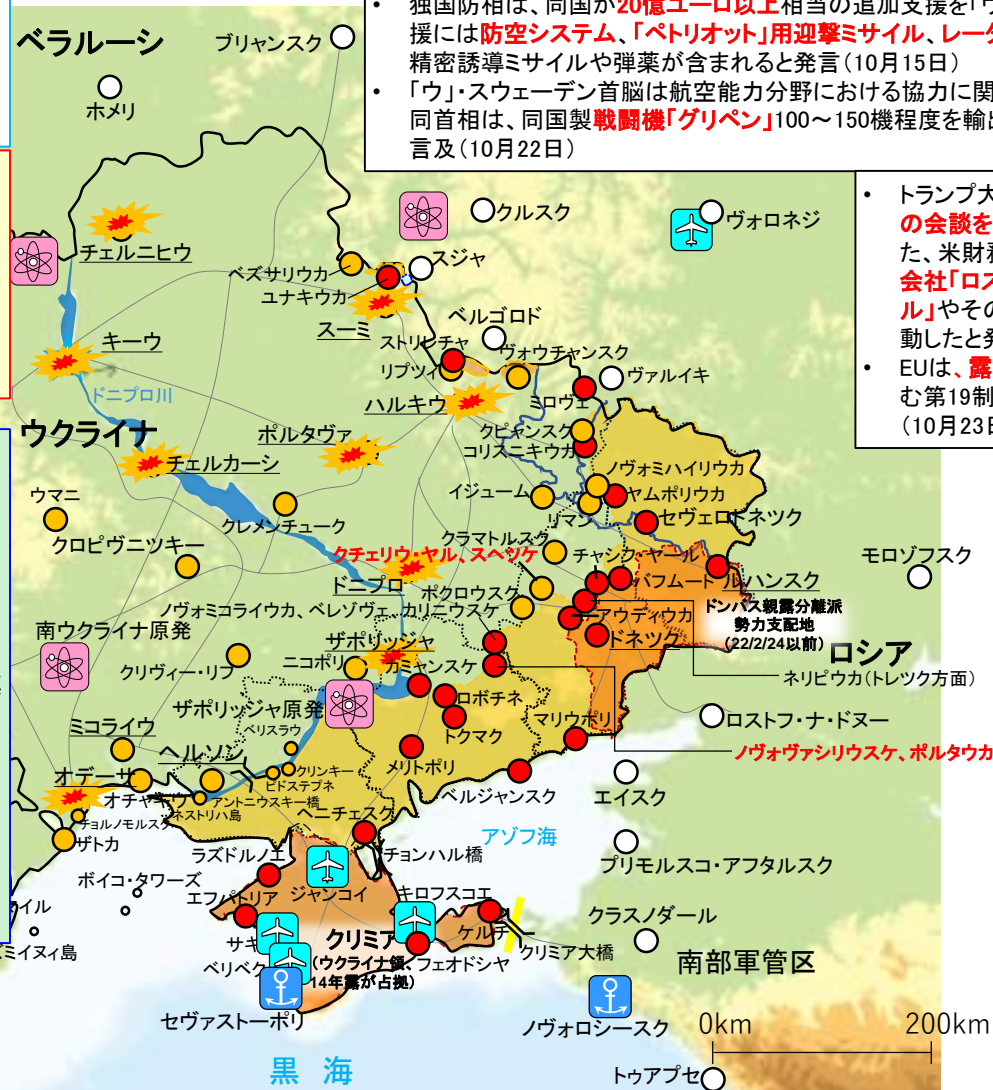
- 「ウ」軍参謀本部は、北朝鮮部隊が、露クルスク州から無人機を使用した航空偵察を行って「ウ」軍の位置を特定しているほか、多連装ロケットの射撃調整を支援しているなど、「ウ」**スーミ州**における露軍の作戦を北朝鮮部隊が支援していると指摘(10月16日)
- 「ウ」空中攻撃部隊は、ドネツク州**クチェリウ・ヤル**(10月22日)及び同州**スベツケ**(25日)を奪還したと表明
- 露国防省は、ザポリヅジャ州**ノヴォヴァシリウスケ**(10月10日)、同州**ポルタウカ**(19日)を解放と発表

- ゼレンスキー大統領は、先週の攻撃に「ウ」**国産巡航ミサイル「ネプチューン」と「フラミンゴ」**が組み合わせて使用された旨発言。また、露のガソリン不足は需要の最大20%に達しており、**中国とベラルーシからガソリンを輸入**していると指摘(10月9日)
- 「ウ」空軍は、露が**無人機465機、ミサイル32発**(うち弾道ミサイル16発)で「ウ」を攻撃と発表。「ウ」首相は、今回の攻撃は、特に**エネルギー施設**に対する最大規模の集中攻撃の一つであったと発言(10月10日)
- 「ウ」空軍は、露が**無人機405機、ミサイル28発**(うち弾道ミサイル15発)で「ウ」を攻撃したと発表。「ウ」エネルギー相は、露が一晩中**エネルギーインフラ**を標的に攻撃を実施と表明(10月22日)
- 露国防省は、251機(10月6日)、184機(7日)、103機(13日)、121機(25日)、82機(26日)、**モスクワ市**に向かった**34機**を含む193機(27日)、100機(29日)の「ウ」**無人機を迎撃**した等と発表(27日)
- 「ウ」軍参謀本部は、露ダゲスタン共和国**マハチカラ製油所**(22日)や**リヤザン製油所**を攻撃(23日)等と発表。また、各州当局によれば、オレンブルク州**天然ガス工場**が一部損傷したほか(19日)、チェリャビンスク州**コペイスク弾薬工場**で爆発が発生(22日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が占領した地域

- 「ウ」国防相は、もし必要な資金が提供されれば、同国は2026年に、**最大2,000万機のFPVやISR、その他ドローン**を製造可能であると改めて言及(10月15日)
- 独国防相は、同国が**20億ユーロ以上**相当の追加支援を「ウ」に提供するとし同支援には**防空システム、「ペトリオット」用迎撃ミサイル、レーダーシステム**のほか、精密誘導ミサイルや弾薬が含まれると発言(10月15日)
- 「ウ」スウェーデン首脳は航空能力分野における協力に関する意向書に署名。同首相は、**同国製戦闘機「グリペン」100~150機**程度を輸出する予定である旨言及(10月22日)

- トランプ大統領は、**露大統領との会談を取り止めた**と発言。また、米財務省は、**露二大石油会社「ロスネフチ」と「ルクオイル」**やその子会社に**制裁**を発動したと発表(10月22日)
- EUは、**露LNGの輸入禁止**を含む第19制裁パッケージを採択(10月23日)



国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等